資料２

鳴門公園内のモニュメント設置検討について

全国の事例

文字	観光地や建物、公園などに多く設置 設置する場所の特性を持たせた仕掛けや、人を楽しませる仕掛けをしているものもある。 ・鳥取駅は表面が砂で作られている。 ・静岡駅はプラモデル形式となっている。 ・ベンチとして使用可能なものもある（阪急サン広場）。 ・日田駅は自分が「Ｉ」になることで文字が完成する。
オブジェ	地域の特産物やゆるキャラをオブジェクトとして設置 「＃」を付けてＳＮＳ映えの効果を見込んだものもある。
発進系	サイクリスト向けに、ナショナルサイクルルートやアワイチ、四国一周などの起点に設置 東京オリンピックのロードレースとして使用したレガシーを示すものもある。

【事前に頂いたご意見】

・将来を見越して発展的に押し出せるよう、**「鳴門」や「NARUTO」の文字モニュメントを統一されたデザイン**で鳴門公園内各所に使用すると魅力度が上がるのでは。
・**自転車を固定して写真が撮れるスタンド型**のものや、**地名看板や標識がデザイン性があり、写真を撮るスペースが確保**されているもの、
ウッドデッキやデザイン性のある照明設備、柵等の環境整備がされており、景色と調和しているもの、人が入って写真を撮るトリックアート的なものも良いのでは。
・名勝・国立公園として守られてきた**景観を阻害しない自然と調和したもの**が望ましい。
・徳島県の**伝統工芸（大谷焼のタイルや阿波藍）の色彩**を取り入れたデザインにより、**景観と調和する機能美を持ったモニュメント**（サイクルラックやベンチなど）
・巨大なものではなく、**大鳴門橋や渦潮が主役として最も美しく切り取れる位置に、シンプルなフレーム**（額縁や窓）を設置する。
・特定の時間帯や角度から光が当たった時にだけ浮かび上がるような**環境調和型のモニュメント**（NARUTOや自転車シルエット、アワイチ・四国一周の結節点を示す図形）
・起点マーカーや二次元コードを設置し、スマートフォンをかざすと**画面上の実際の背景にＡＲで３Ｄアートや歓迎のメッセージボードが浮かび上がる**仕組み。

千畳敷設置イメージ（文字）